

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-227708

⑬ Int.Cl.⁴
A 46 B 15/00

識別記号

庁内整理番号
8206-3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)11月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 ヘアーブラシ

⑯ 特 願 昭59-83058

⑰ 出 願 昭59(1984)4月26日

⑱ 発 明 者 ジャック・ケネス・イ 東京都港区西麻布4丁目17番7号
ボツト

⑲ 出 願 人 ジャック・ケネス・イ 東京都港区西麻布4丁目17番7号
ボツト

⑳ 代 理 人 弁理士 一色 健輔

明 細 書

1. 発明の名称

ヘ ア ー ブ ラ シ

2. 特許請求の範囲

(1) ブラシ本体内に電池を収納するとともに該電池の陰極側をブラシ毛の基端に接続し、該電池の陽極側を該ブラシ本体の柄部外表面に接続してなることを特徴とするヘアーブラシ。

(2) 前記電池をカーボン粒子またはカーボン繊維を高密度に有する陽極シート材に、電解質糊料を介して陰極アルミニウム層または亜鉛層を積層することによって構成してなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のヘアーブラシ。

(3) 前記シート状電池を比較的広幅で細長く形成するとともに陰極側を内側として折曲げ、この折曲げ部片間に前記ブラシ部の基端まで延長するリード片の一部を挟持した状態で前記本体内に収納してなることを特徴とする特許請求の範囲第2項記載のヘアーブラシ。

3. 発明の詳細な説明

この発明はブラッシングの際に頭皮及び毛根を刺激して毛髪を保護育成するヘアーブラシに関するものである。

従来から、毛髪をブラッシングするとマッサージ効果により、頭皮及び毛根が刺激され、このようなブラッシングを定期的にしきも長期間続けることは毛髪を健康的に保つために良いとされている。従来のヘアーブラシの多くは木製またはプラスチック製のブラシ本体に動物製のブラシ毛を植設したものが一般的であった。しかしながら、最近ではブラッシングの際に発生する静電気を除去するため、ブラシ本体の柄部に導電性被覆を施して、この柄部を握る人体を通して静電気を逃すようにしてなるヘアーブラシが提供されている。

これに対し、本発明は全くユニークな考えに基づくもので、その目的は頭皮及び毛根への刺激をマッサージ効果に加えて電気エネルギーの流通によって行ない、健康的な毛髪を維持、育成するとともに静電気の発生も防止することのできるヘアーブラシを提供するにある。

即ち、本発明に係るヘアーブラシによれば、ブラシ本体内に電池を収納するとともにこの電池の陰極側をブラシ毛の基端に接続し、この電池の陽極側をブラシ本体の柄部外表面に接続してなるのである。

上記のような構成に係る本発明のブラシを使用することにより、このブラシの陽極側柄部を握る手から腕、肩、首、頭部、頭皮、毛根に至り、次いで油分、水分を帯びて導電性を有する毛髪及びブラシ毛（植毛部）を通り、ブラシ毛基端の陰極側に至る電気回路が形成されることになる。このような電気回路の形成により、ブラシ毛の陰極側基端からは電子が放出され、頭皮及び毛根部分にマイナスイオンが多く集中することになる。ヘアーブラシのブラッシング効果によって、もともと頭皮部の血管が刺激されて血行が良くなっているわけであるが、ここにマイナスイオンが集中すると電気エネルギーの移動が生じて頭皮部が更に電気的に刺激され、血行が一層良くなり、この良好な血行によって毛髪の養分が毛根部に従来よりも

増して多く送り込まれ、毛髪の育成が一層増進されるのである。

以下に本発明の好適な実施例について添付図面を参照にして説明する。

第1図は本発明の第1実施例に係るヘアーブラシを示し、このヘアーブラシの本体1は木またはプラスチックから形成され、ブラシ側頭部2と柄部3とからなっていて、ブラシ側頭部2内には扁平なボタン型あるいはコイン型乾電池4が固定的に配設されている。この乾電池4の陽極（+）には陽極リード片5の一端が結合され、このリード片5は本体1の柄部3内に延長し、その他端は柄部3の外表面に設けられた導電性被覆材6に連結されている。

一方、乾電池4の陰極（-）には陰極リード片7の一端が連結され、このリード片7の他端は導電性ブラシ保持体8に連結されている。この保持体8は、例えば導電性ゴムから形成され、この保持体8に金属等の導電性ブラシ毛9が多数本植設されている。

上記の第1実施例に係るヘアーブラシでは、柄部3を握持してブラシ毛9を頭皮に押し当てると、電池の陽極に連結された柄部3の導電性被覆材6から腕、肩、首、頭部を経て、頭皮からブラシ毛9に、そしてブラシ保持体8からリード片7を通して電池の陰極に至る電気回路が形成される。これによって、電気エネルギー（マイナスイオン）が頭皮に流れるようになる。引き続き、このブラシによって髪を梳くと、ブラシ毛9は頭皮から離れるが、毛髪は一般的に表面に水分を有していて導電性となっているから、上記陰極側のマイナスイオンからなる電気エネルギーは毛髪を通り、毛根から頭皮へと流れる。この電気エネルギー（マイナスイオン）の流れは毛根への養分の吸収を極めて活性化するとともに、またこれに応じて養分の毛髪自体への流入を促進し、毛髪の保護、育成効果を奏することができるのである。

最近、種々の養毛剤とか育毛剤が市販されており、これらのほとんどは頭部に液状で塗りつけてマッサージし、これらの有効成分を毛根に浸透む

のである。本発明のヘアーブラシをこれらの養毛剤等と共に使用すると、上記の電気エネルギーによって毛髪、毛根及び頭皮への刺激が増大するため、この養毛剤のこれらの部分への吸収が促進され、これら養毛剤等の薬用効果が充分に発揮されることになる。

第2図は本発明の第2実施例に係るヘアーブラシを示し、この実施例では本体1のブラシ側頭部2aの全体を合成樹脂から形成し、この側頭部2aの第2図における上方部に導電性金属片10を埋設し、この金属片10にブラシ毛9aの基端部を植設している。このブラシ毛9aは好ましくは全て導電性を有する素材から形成することで、所要の場合にはブラシ毛9aの大部分を非導電性素材から形成し、このブラシ毛9aの各束内に一本または数本の導電性線材を配設するようにしても良い。この金属片10は、前記第1実施例の場合と同様に、リード片7を介して乾電池4の陰極と連結される。その他の構成並びに作用効果については、第1実施例の場合と実質的に同一であるため

説明を省略する。

第3図は本発明の第3実施例に係るヘアブラシを示し、この実施例では本体1の柄部3内に空間部11を形成し、この空間部11内に円筒状乾電池12を収納し、この空間部11の開口部を螺子付栓体13で閉塞している。この電池12の陰極側はリード片7を介してブラシ毛9aの基部を備設した金属片10に連結され、一方電池12の陽極側は栓体13の螺子部に設けたリード片5aを介して柄部3の外表面に設けられた導電性被覆材6に接続されている。その他の構成並びに作用効果については第2実施例の場合と実質的に同じである。

第4図は本発明の第4実施例に係るヘアブラシを示し、この実施例では電池として第5図に示すような折曲自在なシート状電池14を用いてなる。このシート状電池はカーボン粒子またはカーボン繊維を高密度に有するシート状導電層を陽極15とし、この陽極の一方の面に電解質材料16を介して陰極17を構成するアルミニウム粉層また

は亜鉛粉層を積層してなる。この陽極15と陰極17との間には、好ましくは、多孔性のセパレータ18を介装し、このセパレータ18に電解質材料16を担持させることである。陽極15を構成するシート状導電層としては、好ましくは、カーボン微粒子を高密度に含有した繊維紙を用いることである。また、所望の場合には、イオン透過性を有する導電性のセパレータ18の一方の面にカーボン微粒子を高密度に含有した墨等の塗布材を塗布することによって陽極15を形成してもよい。一方、陰極17を構成するアルミニウムまたは亜鉛粉層としては、これらの金属の箔が最も一般的であるが、これ以外にアルミニウムまたは亜鉛微粉末を多量に含有した塗布材を用い、これを上記セパレータ18の他方の面に塗布してアルミニウムまたは亜鉛粉層を形成するようにしても良い。また、電解質としてはイオン性の良好な種々の物質を用いることができるが、一例としては糊粉質を主成分とした糊料を用いることである。

第5図に示したシート状電池を用いたヘアブ

ラシを構成する場合には、このシート状電池を比較的細長の矩形に切り取り、これを第6図に示すように三層となるようにジグザグ状に折畳み、中層と下層の間に第1の電極リード片7を挟持しまた中層と上層の間に第2の電極リード片5を挟持してやる。この場合、第1の電極リード片が陰極リード片7となり第2の電極リード片が陽極リード片5となり、これらリード片を第2実施例同様に、それぞれ、ブラシ毛9aの基部の金属片10と柄部3の導電性被覆材6と連結することである。その他の構成については第2実施例の場合と同様である。この第4実施例のヘアブラシの場合には、電池とリード片の連結が極めて簡単かつ確実となるだけでなく、電池自体が紙と同程度に極めて軽量であるから使用の際に全く重量の増加を感じさせず、また極めて安価であるからヘアブラシに埋込んで使い棄てとできる等の効果を奏するものである。

以上のように本発明のヘアブラシによればブラッシングの際に頭皮部分にマイナスイオンが多

く生成され、このマイナスイオンによって電気エネルギーの移動が生じ、これに伴って電導性を有する血液その他の体液も活性化され、これによって毛髪の養分が毛根部に従来よりも一層多く送り込まれ、毛髪の育成が促進されることになるのである。また、ヘアブラシの柄部から人体を介してブラシ毛を経由する電気回路が形成されるから、ブラシ毛と毛髪との間に不快な静電気が蓄積されることもなくなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図はそれぞれ、本発明の第1乃至第4実施例に係るヘアブラシを示す縦断面図、第5図は第4実施例に用いられるシート状電池を一部破断して示す斜視図、第6図は第5図のシート状電池を用いて第4実施例の電極リード片を挟持する状態を示す斜視図である。

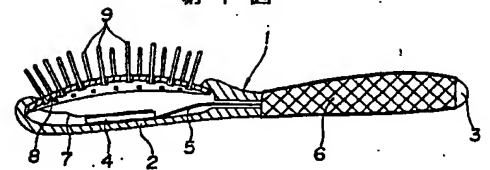
- 1 …… ブラシ本体 2 …… ブラシ頭部
3 …… 柄部 4, 12, 14 …… 電池
5, 5a …… 陽極リード片 6 …… 導電性被覆材

7 …… 隆起リード片 9, 9a …… ブラシ毛

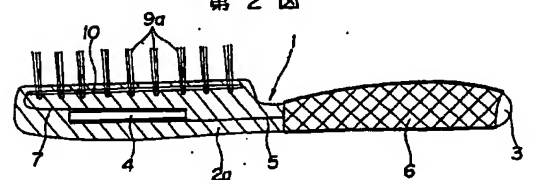
特許出願人
代理人

ジャック・ケネス・イボット
弁理士 一色健輔

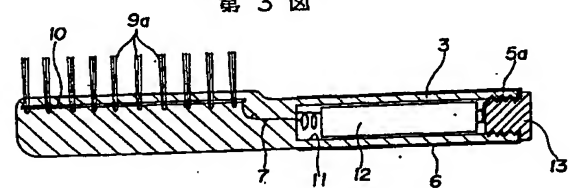
第 1 図



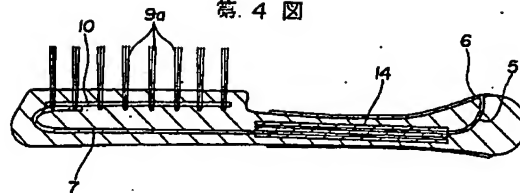
第 2 図



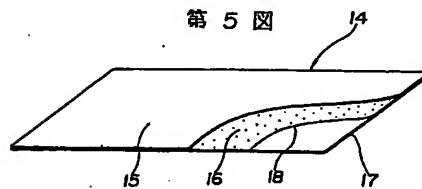
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

